

せいらんそう

第51号

2021.8



事業所トピックス 青嵐荘ケア・アシスタンスより (P7掲載)

Contents

- P 2 令和3年度の取組み～働き方改革の強化推進～
令和3年度 新任職員紹介
- P 3 令和3年度 新管理者紹介
- P 4 令和2年度 資格取得者紹介
- P 5 令和2年度 補助金・助成金について
- P 6 新療育園への思い
- P 7 施設・事業所トピックス
- P 8 芳香会活動報告
芳香会スケジュール
編集後記



事業所トピックス 青嵐荘落のとう舎より (P7掲載)



令和三年度の取組み 働き方改革の強化推進

理事長 宇留野光子



昨年度は、コロナ禍の中皆様に支えられ五十周年という大きな節目を迎えることが出来ました。心よりお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症と最前線で戦っている医療従事者の皆様に感謝申し上げます。

さて、令和三年度の目標「働き方改革の強化推進」について三つお伝えします。

一つ目は年間休日数を三日増やし、年間一〇日としました。

二つ目はペーパーレス化と業務省力として給与明細書をウェブ明細書にいたしました。

三つ目はICT化の推進として、障害福祉全事業所を対象に新たなソフトを導入します。

まず、一つ目の年間休日数ですが、有給取得義務五日間を足しますと、一―五日間となります。わずかな日数の増ではありますが、皆さんの生活に少しでもゆとりが持てるようになるかと幸いです。

二つ目のウェブ明細書ですが、希望者におきましては従来通り紙による配布もしております。その他、ペーパーレス化や業務省力において、各事業所で会議等の資料は印刷せず、PCやタブレットで閲覧するなど工夫を凝らしています。

三つ目はICT化の推進として、障害福祉全事業所を対象に、画像の挿入や様々な職種の記録形態を入力することが可能なソフトを導入しました。現在試用期間として現場で練習しています。年度後半には本格的に導入し業務効率化をはかります。

今後は、ウィズコロナ・アフターコロナの共生社会に求められる働き方も含め、福祉事業ならではの働き方改革を強化推進していきたいと考えております。

令和三年度 新任職員紹介

「保育士になって」

たま保育園

保育士 中村 萌恵

私は、四月から保育士として勤めさせていただいた二ヶ月が経ちました。初めと比べると環境にも慣れ、まだまだですが、一人で出来ることも増えてきました。その中で、目標を二つ決めました。

一つ目は、先輩職員の方々、子どもたちや保護者の方々ととって、安心して、頼れる存在になる事です。お忙しい中、先輩職員の方々に分からないことを一つ一つ丁寧に教えていただき、困っている時には何度も助けていただいています。そして、子どもたちや保護者の方との関わりを見て、勉強になる事ばかりです。

二つ目は、自分自身が仕事を楽しむことです。その為に、まずはこの一年で、分からないことを無くしたいです。そして、子どもたちが楽しい保育園生活を過ごせるように、私も一緒に楽しむことを大切に子どもたちと関わっていきたくと考えています。月日が経つても、今持っている初心を忘れず、勤めていきたいです。



「一年目をスタートして」

青嵐荘ケア・アシスタンス

介護員 ドー アイン ソン

令和三年四月一日から新人研修が始まり、生活課での現場実習を勉強させていただきました。その中でご利用者とのコミュニケーションや生活の様子、身体状況などを学びました。初め、とても緊張しましたが約二か月が過ぎました。ご利用者や先輩職員から優しい言葉をかけていただいていたので、今まで仕事が楽しく過ごしています。ご利用者が笑顔で過ごせるようにこれから職員の方々の指導を受けながら、ご利用者と上手くコミュニケーションを取りたいです。

まだまだ分からないことがあり、ご利用者や職員の方々に迷惑を掛けたいと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



「やさしい介護福祉士になりたい」

青嵐荘療護園

生活支援員 ネラ ヤンテイ

私はインドネシアの出身で、二〇一八年の四月に初めて日本に来ました。日本とインドネシアは、気温や文化、習慣などが違うので、なかなか慣れることができませんでした。来日して最初のうちは雪を見て嬉しかったのですが、雪の多い石川県での生活はとて大変でした。そのこともあり、雪の少ない茨城県で働く事に決めました。今年の四月から療護園に勤務し、日本での生活には慣れてきましたが、新任職員としてわからない事や慣れないことがたくさんあります。

私は介護福祉士として、利用者、職員、一人一人を理解して、良い人間関係を作りたいと思っております。今はまだ、利用者に慣れてもらえず、介助を拒否されることもありませんが、「頑張ってください」「大好きよ」と声をかけてくれる利用者もいます。とても嬉しかったです。時間をかけて信頼関係を築いていき、利用者に安心してもらえるようにしていきたいです。



「目標に向かって」

青嵐荘ケア・アシスタンス

介護員 酒井 咲良

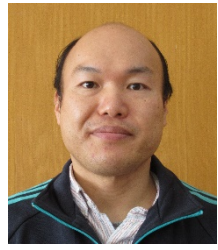
私は、介護の勉強が出来る高校で三年間勉強してまいりました。私が小さい頃は、よく近所の高齢者の方に遊んでもらったり、助けていただいたので、今度は私が助けたいと思っていました。

ケア・アシスタンスでは、高齢者の介護の他に、リハビリで身体機能等を向上させ、在宅復帰を目標にしていると聞き、私もそのお手伝いが出来たらと思い、就職しました。アルバイトの期間も含め、約三か月が経過しましたが、業務ではもう一人で出来ることも増えていますが、まだ不完全な所もあり、ご利用者や職員の方に迷惑をおかけすることもあります。私は焦ると空回りしてしまう性格なので、自分のペースで色々業務やご利用者のことを覚えていきたいと思っております。

最後になりますが、私の目標はご利用者に頼ってもらえるような職員になりたいです。その為には、ラポールを育んでいき、目標に近づけるようにしたいです。



令和三年度 新管理者紹介



青嵐荘路のとう舎
副施設長
みのりホーム 管理者

長谷川 大史

この度、令和三年四月より、青嵐荘路のとう舎副施設長、みのりホーム管理者を拝命しました。平成三十一年四月に相談支援事業所の管理者となり、二年の経験を経て、人事異動となりました。

施設での業務は、約八年ぶりであり、戸惑いもありますが、今までより、ご利用者・ご家族と近い距離で接することが出来ることは、私自身のモチベーションにつながります。

振り返りますと、芳香会でのキャリアは、介護職からでした。そこから、施設の相談員、地域の相談員を経て、今年二十年目を迎えました。ソーシャルワーカーとして、ミクロからメゾ・マクロと視点をかえて、ソーシャルワーク実践をしてきたことは、これからの、路のとう舎・みのりホームにおいて活かせることであると考えております。

今までのキャリアにおいて、たくさんの人たちと出会い、ご迷惑をお掛けしたこともありましたが、変わらぬご指導を頂き、ここまでできることが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。

多様性の社会のなか、柔軟な姿勢を持ち、様々なことに誠実に向き合うことで、管理者としての信頼を得られるように、これからも努力し続けていきたいと思っております。



つくし園相談支援事業所

所長
杉野 隆亮

この度、四月一日より青嵐荘つくし園相談支援事業所の所長を拝命いたしました。

管理職としての大役に、正直申しますと、勉強不足・力不足を痛感し不安に感じることがありますが、事業所の運営や経営、人材育成・管理等、新たな経験を積ませて頂ける環境に感謝し、チャレンジしていきたいと思っております。

入職して十六年を振り返ると、社会人としてスタートを切らせて頂いた芳香会への感謝の思いは勿論のこと、気持ちがか折れそうになった時に、優しい言葉をかけてくださったご利用者、そして、相談員として職種変更を後押ししてくださった上司と、人生の帰路において、沢山の方々にご支援頂いた結果、今の自分が在ると思っております。本当に心より感謝申し上げます。

これからは、恩返しという訳ではございませんが、管理者として、今、すべきことは何かを常に考え、一つひとつ丁寧に業務に向き合っていくことで、ご利用者や地域の皆様に還元していきたいと思っております。

まだまだ、未熟者ではありますが、大切な仲間と共に力を合わせて、日々精進して参りたいと思っております。



結城市南部地域包括支援センター青嵐荘

センター長
木立 雅人

この度、結城市南部地域包括支援センター青嵐荘の管理者を引き継ぐことになりました。

結城市では、令和三年度から地域包括支援センターの業務が、全て民間委託となりました。当法人を含め三センター体制になります。これまで行ってきたセンター運営にかかる事業と、新たに指定介護予防支援事業所の業務など全てが委託となりました。

当センターの職員も三名体制の内、私以外の二名が新たに配置されました。今年度の運営目標は、地域包括支援センターの運営を軌道に乗せていくことが大きな目標となります。

地域包括支援センターの運営については、職員の変更に伴い、基本的にこれまでの実績を踏まえながら、漏れのない支援や取り組みをしていきたいと思っております。

指定介護予防支援事業については、結城市が担当していた利用者を引き継いだことから、利用者や計画作成を委託する居宅介護支援事業所へ支障が出ないように慎重に行っていくしたいと思います。

更に三センターのお互いの協力関係など、新たな体制づくりに努めていきたいと思っております。

地域包括支援センターの管理者となったこと、新体制の中で唯一その経験があるものとして、今後も体制づくりなどに努めていきたいと思っております。



ひばり保育園

園長
川田 礼

今年度四月一日付でひばり保育園の園長を拝命いたしました川田礼です。

昨年度一年間は法人本部にて事務員として芳香会の各委員会に参加したり、職員の福利厚生企画をしたりと総務の仕事をしていました。それ以前までは大学卒業後からずっと保育士として働いてきました。

保育の現場では、主任という役職をいただいたこともありましたが、初めての管理職。やはり現場にいた頃と求められることが違うなど戸惑いながら毎日を送っているとともに、身の引き締まる思いです。

せっかくご挨拶のスペースを頂きましたので、ひばり保育園の園長としての目標を発表させていただきます。大きく三つあります。

- 一、乳児保育を極める
 - 二、芳香会職員、地域の皆様に気軽に利用してもらえる施設になる
 - 三、保育の楽しさを次世代に伝える
- 現場の保育士として働いていた頃、乳児保育の大切さを学びました。ひばり保育園の職員とともに学びを深め、質の高い保育が提供出来るよう精進してまいります。

園長一年目、至らない点多々あるかと思っておりますが、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

各事業所で活躍する資格取得者！！

芳香会 令和2年度資格取得者紹介



介護支援専門員



長須支援員

(青嵐荘養護老人ホーム)

介護支援専門員は利用者やその家族と様々な社会資源を結びつけるキーパーソンであり、多種多様なケアマネジメントが求められています。制度をしっかりと理解した上で何を求められているのかを考え行動できるような総合力を身につけて、利用者・家族から更なる信頼が得られるよう継続して自己研鑽に努めて参りたいと思います。



阿部介護員

(青嵐荘ケア・アシスタンス)

資格取得、実習を終えて、より視野が広がりました。特に自立支援は多職種と連携し具体的な計画・支援を行う事、ご利用者の気持ちに寄り添いながら一緒に楽しみや喜びを見つけていく大切さを学びました。新たなスタートとして、今後も向上心を持ち、安心して頂けるよう努めます。

介護福祉士



亀里生活支援員

(芳香会病院青嵐荘療育園)

私は保育士として入職しましたが、昨年度芳香会で開講している実務者研修を受講後、介護福祉士を取得しました。実務者研修では、介護過程や医療ケアなど基礎を学び、その時得た知識や技術は、現在色々な場面で活かしている事を実感しています。これからは保育士と介護福祉士、双方の視点からご利用者に寄り添った支援ができるように精進していきたいです。

精神保健福祉士



長竹生活支援員

(芳香会病院青嵐荘療育園)

今回精神保健福祉士の資格を取得する事が出来、嬉しい気持ちはありますが、今後は自分が学んできたことを業務に活かせる様、努力していきます。

自分は療育園で働かせてもらって、常に学ぶ事の大切さを教わりました。今後は学ぶ気持ちを忘れず、利用者様と関わっていきたくです。



石田相談支援係長

(青嵐荘つくし園相談支援事業所)

現代社会において心の問題を抱える人が増えており、障害を有する方を支援し続ける中で、専門的知識を学んで支援したい、と強く思い資格取得に励みました。今後は、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、福祉や医療、地域等が協力して包括的な支援体制の構築にむけて、その一翼を担えるよう日々精進してまいります。



ジネット介護員

(青嵐荘ケア・アシスタンス)

「日本で暮らしている外国人として、学習は決して終わらない。」約4年を日本で生活していても、国家試験を受験し合格しても、まだ知らないことがたくさんあります。もちろん学んだことも多いですが、まだ十分ではないので高めたいです。しかし、今は「滑らかな生活」を送るために日本とその文化について学ぶことに焦点を当てて、日本人とより良い関係を築きたいです。

防災士



伊藤生活支援員

(青嵐荘療護園)

私は2020年度から療護園の防災委員として活動しており、2020年9月に防災士資格取得試験を受験し筆記試験に合格致しました。2011年の東日本大震災では私の出身地である岩手県大船渡市が津波で甚大な被害を受けました。私達が暮らす茨城県西部においても、いつ大雨や地震などの災害に見舞われるか分かりません。今回学んだ事を活かし、施設における防災と防災力の向上の為に活動していきたいと思っています。



吉田課長

(青嵐荘つくし園)

近年、地震の発生や集中豪雨、台風などの自然災害が増え、当施設でも防災力向上の必要性を感じています。防災士取得のための研修に参加し、「自助・共助・協働」を原則とし、地域の防災リーダーとしての役割を学びました。今後は、救急救命講習を受け、防災士を取得し、他事業所との連携や地域の方との関係作りも積極的に行っていきたいと思っています。



和田生活支援員

(青嵐荘つくし園)

昨今の予測不可能な災害に対し、正しい知識と適切な判断を兼ね備えた人材として、今回、防災士取得研修に参加し試験に合格しました。自施設での防災力強化の他、公的な救援活動が十分に機能するまでの初動時の対応と地域内での防災組織の役割について学びました。今後は救急救命講習を受講し、防災士資格取得を目指していきたいと思っています。

地域づくり団体活動支援助成金

現在、日本各地で少子高齢化・人口減が進み、これまで盛んに取り組まれてきた地域の活動や行事が維持できなくなりつつあります。そのような中、芳香会が所在する地域で、小学生から老人クラブの方々まで、地域住民や企業とのコラボレーションで様々な活動を展開しておりますが、このような活動の輪をさらに広げべく、2011年に地域づくり団体茨城県協議会へ入会しました。

協議会への加入により、地域づくり団体活動支援助成金をいただくことができ、地域の一般市民の方々を対象とした「地域づくり講演会」を、これまでに5回開催してきました。

また、2020年度には、地域の方々とともに高齢知的障害者に対する支援について学ぶ「障害者福祉セミナー」でも助成金を活用させていただきました。

これからも助成金を活用させていただきながら、誰もが暮らしやすい魅力ある地域を、地域の方々とともに考え、創造していきたいと思えます。(茨城県地域生活定着支援センター 酒寄)

助成金を利用した車両購入

きっかけは、「助成金を利用して車両を購入してみてもどうでしょうか」という理事長からのご助言でした。当施設で主に使用していた車両は平成9年式と大変古いため大事に乗って参りましたが、最新の安全装備を備えた車両に更新すべく、先輩職員に指導いただきながら助成金を申請致しました。



申請したのは、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団が行っている施設整備事業です。準備から助成金の交付決定まで約6ヶ月もの期間を要したため、交付決定通知書が届いた時は感無量でありました。

車両は2020年12月4日に納車され、ご利用者の通院や買い物等がより安心安全にできるようになりました。これから長きに渡りお世話になる車両ですので、職員一同、安全運転を心掛け大事に乗っていくつもりであります。(青嵐荘養護老人ホーム 石川)

令和2年度 補助金・助成金について

NHK歳末たすけあい助成金を頂いて

今回、令和2年度NHK歳末たすけあい助成金を頂き、『レイズドベッド・キャスター付き移動式大型プランター』を購入することができました。このレイズドベッドの最大の特徴は車椅子がテーブル状のプランターにしっかり入るようになっているので作業がしやすくなることです。花壇づくりでは重度のご利用者も目の土を触り、草花を植えることができ、たくさんの笑顔が見られました。参加できる環境を整えることの大切さを身に染みて感じたところです。今後も多くの草花を植えて育てて季節を楽しみたいと思います。NHK歳末たすけあいに賛同し、ご協力を頂いた方々、本当にありがとうございました。(青嵐荘療護園 塚田)



清水基金について

当施設ご利用者にはお湯につかることが困難な重度心身障害者も多く、従来の機械浴槽では十分に対応できませんでした。新療育園建設を機に、全ての方が入浴できる機器へ切り替えを進め、この度、社会福祉法人清水基金による助成を受け「オープン型シャワーバス」を導入しました。そこで生活支援員のSさんに実際に機器を使用した感想を伺いましたのでご紹介します。

「この機器は周りが囲われていないため寒そうに見えましたが、ご利用者はホカホカでも気持ちよさそうです。湯船に浸かるのが好きな利用者の反応が心配でしたが、シャワーバスにもニコニコして入浴を楽しまれています。ストレッチャーも新しくなり、高さの上げ下げができ、職員の体にも優しくなって大変ありがたいです。」(芳香会病院青嵐療育園 川島)



『療育園建て替えへの期待』

令和4年4月には新療育園になる予定です。現在の療育園は昭和57年に開設されています。当時の医療法や建築基準、倫理面にあわせて建築されており、現在までには必要に応じて居室の一部を作り替えるなど行ってきましたが、基準に合わない面が多くなっています。

今回の建て替えで、居室が10人部屋から、最高でも4人部屋へと変更されています。このことで、プライバシーの保護・感染症対策が行いやすくなります。施設生活は集団での生活の場ではありますが、個々人の生活があるため、プライバシーの保護はやはり重要です。新療育園においては、居室の設計からも個人のプライバシーに配慮したケアが行っていただけるものと期待しています。集団生活では多くの人が近い空間になりやすいため、感染症が蔓延しやすいですが、新療育園は少数人数の居室設計のため、蔓延防止につながります。居室環境が変わることで、感染症から利用者様の生命・生活を守りやすくなると期待しています。

(芳香会病院青嵐荘療育園 新聞)



デイルームのイメージ図



4人部屋のイメージ図



～新療育園への思い～

『365日リハビリに集中できる空間』

新療育園での一番の願いは「365日いつでもリハビリに集中できるお部屋を作りたい！」ということでした。現療育園では、訓練室がお風呂の着衣場でもあり、入浴日には使用できないため、プレイルームや交流ホームなど、リハビリが出来る場所を探すところから、リハビリの時間が始まっていたからです。



新療育園では、1階に機能訓練室があり、入所リハ・外来リハ・通所事業所(機能訓練)が一体となってリハビリを行うことで、機器類も充実し、いつでもリハビリに集中できる空間になりました。同じ空間には、用途に合わせた様々なお部屋もあります。リハや相談を個別で行える相談室、スヌーズレン室、ベッドも設置されている広い多機能トイレ、リハ関連の物品を十分に保管できる広い倉庫と、クッションなどの作成もできる作業スペース、スタッフルーム。

このコロナ禍では、感染対策上、入所ご利用者と外来ご利用者が同じ空間でリハビリをすることが難しい現状です。入所エリアの2階でも、デイルームの一部をリハスペースとして設備を整え、入所ご利用者のリハビリを提供していく予定です。

ご利用者が毎日楽しく動いたり、快適に過ごすためのリハ空間を作っていきたいと思えます。

(芳香会病院青嵐荘療育園 鎌仲)



機能訓練室のイメージ図



社会福祉法人 芳香会 事業所トピックス



『創立30周年記念作品』

青嵐荘ケア・アシスタンス

青嵐荘ケア・アシスタンスは、令和3年6月21日（月）に創立30年を迎えました。新型コロナウイルスの影響で、式典等の開催は出来ませんでしたが、ご利用者と一緒に何か記念になるものを残したいという気持ちで、昨年末から創立記念日に完成することを目標にペットボトルキャップを使用したモザイクアートの制作をスタートしました。

制作にあたっては、全利用者、全職員が携わり、完成図のデザイン検討から、キャップの選別、下地の色塗り、貼りつけまでの工程を経て、キャップを約1万3千個使用した縦2m40cm、横3m40cmの巨大アートとなりました。ご利用者の方々はとても協力的で1日約30分の作業でしたが、集中し疲労の訴えもなく取り組まれていました。

全てのパネルが壁面に掲示され完成した瞬間には、自然と拍手が起こり、出来上がった作品を見たご利用者からは「こりゃいいな。あのキャップは、このためだったんだ。半年かかったけど出来上がったら嬉しいもんだな。また何か持ってきてくれよ。」と話されていました。

今回の作品を制作するにあたり、キャップの収集につきましては、ご利用者ご家族をはじめ、沢山のご協力をいただき、大変ありがとうございました。

今後ご利用者、地域の皆さまのため、職員一丸となって精進して参ります。（印出・谷口）



『オンラインでリトミック』

青嵐荘落のとう舎



落のとう舎では、外部講師が来園され、毎月4回リトミック活動を行っています。バランスボールを使ったり、フレームドラム・カホンなどの楽器を鳴らしたり、踊ったりしながら身体を動かし、ご利用者が毎回とても楽しみにしている活動です。

コロナ禍の影響で昨年4月に一時中断しましたが、講師の先生に協力を頂き2ヶ月後からオンラインで再開しました。始める前は、画面越しでうまく伝わるのか楽しんで頂けるのか等の不安もありました。開始当初は、ご利用者様も画面に映る不思議な感覚に戸惑っている方も見受けられましたが、回数を重ねるごとに先生の声かけに「はい」と元気に答えたり、画面に向かい、先生の伴奏に合わせてフレームドラムを叩く姿がみられてきました。

毎回とても待ちどおしいようで笑顔で参加され、皆様のかけ声と楽器の音でとても活気があります。

まだしばらくは今後の生活の見通しもつきませんが、これからも色々なアイデアを取り入れ、工夫しながら活動の幅を広げていきたいと思っています。（豊永）

『五霞町障害者相談日～地域との協働～』

青嵐荘つくし園相談支援事業所

当事業所では、五霞町より相談支援事業の委託を受けており、平成29年より、地域に埋もれているニーズや解決出来ていないケースの吸い上げを目的とし、毎月1回五霞町障害者相談会を開催してきました。今回6月8日に、担当の五霞町障害者相談員・地域活動支援センター「煌」と、行政・五霞社協の生活支援コーディネーター（以下、社協CO）にも参加して頂き、相談会についての振り返りを行いました。地域に密着している相談員や社協COより、小さな町である為、世間体を気にして相談に訪庁出来ない方、また、引きこもりの精神障害のある子と高齢の両親世帯からの相談が最近少しずつ増えてきている等の話がありました。その為、役場の外線を使用した電話相談対応についての案内や、また、広報誌や役場HPだけでなく、町内会未加入者や高齢者にも目に触れるような周知方法、そして、引きこもりと発達障害との関連性を踏まえ、保育園や学校へ周知の間口を広げニーズの吸い上げを行っていくことになりました。今後については、相談がどの周知媒体から繋がってきたのか分析し、地域の課題として結び付けていくことで、事前に対策・対応できる仕組みを地域住民・行政と共に検討していきたいと思っております。（杉野）

令和3年度 障がい者相談日の開催

2021年	7月8日(木)	8月6日(金)	9月8日(水)
	10月8日(金)	11月8日(月)	12月8日(水)
2022年	1月7日(金)	2月8日(火)	3月8日(火)

☆ご希望の方はご連絡下さい
☆お電話・訪問での相談も受け付けております

時間：午後2時30分～4時
場所：五霞町役場 1階 小会議室（玄関を入り会計室の隣）
担当：身体障害者相談員・地域活動支援センター「煌」相談員
知的障害者相談員・青嵐荘つくし園相談支援事業所

【お問合せ先】 五霞町役場 健康福祉課 社会福祉G ☎84-0006

芳香会活動報告

名称が変わりました。

令和三年度四月より「結城市地域包括支援センター南分室」から「結城市南部地域包括支援センター青嵐荘」に変更になりました。

書籍が発行されました。

芳香会社会福祉研究所の安梅勅江先生の新刊『エンパワメントの理論と技術に基づく共創型アクションリサーチ』持続可能な社会の実現に向けて』の第八章を芳香会が担当いたしました。イノベーション委員会やロボットについて載っています。機会がありましたら是非ご一読ください。



書籍詳細

花桃オーナーになりました。

古河市の花桃オーナー制度に申込み、公方公園の一角に芳香会五十周年記念、青嵐荘療護園と牛ヶ谷保育園は四十周年記念の三本を植樹しました。公方公園に行つた際には是非探してみてくださいね。



牛ヶ谷保育園



芳香会法人本部



青嵐荘療護園



公方公園HP

ひばり保育園開園しました。



令和三年四月より小規模認可保育園としてオープンしました。芳香会職員のお子様や地域のお子様をお預かりしております。また、一時預かり保育も実施しております。一時預かり保育は単発のお預かりも可能ですので、お気軽にご連絡ください。



ひばり保育園HP

ベルマークを送付しました。

皆様からお預かりしたベルマークを寄贈ベルマークとしてベルマーク財団様へ送付いたしました。

寄贈ベルマークは被災地等へ寄付されます。今後も回収を続けますので、ご協力をお願いいたします。※回収は、各事業所の事務所窓口に回収箱を設置しております。



芳香会スケジュール

二〇二二年

八月	下旬	令和三年度 第一回事務員学習会
十月	二日	第四回 障害者福祉セミナー
十月	上旬	交通安全講習会
十月	下旬	法人内ヒアリング
十一月	上旬	理事会
十一月	下旬	評議員会
十一月	下旬	令和三年度第二回移動献血事業

編集後記

家のテレビの買い替えをきっかけに、Huluを契約しました。番組の多さに驚きました。特に韓流ドラマに夢中です。おうち時間がさらに楽しくなりました。(光)

最近のプチ自慢。ヨガを継続していたら立ったまま前屈をすると手のひらが床にベタベタとつくようになりました。次は開脚前屈で額が床につくのが目標です！ヨガの先生曰く、毎日練習していれば半年くらいでつくようになるそうです。(礼)

夏が来ると鮎(アユ)の塩焼きを思い出します。鮎をコンロで焼くと皮が網に張り付きやすいですが、串にさし立てて炭で焼くとうまく焼くことができます。鮎は主に石に付いた藻類を食べますので、そのまま焼いて食べることができません。水質の良い川にいる天然の鮎は、養殖と違いスイカのような香りがすると言われています。(剛)

庭で薔薇を育てています。長雨を乗り越え、二番花が満開を迎えています。梅雨が明け、いよいよ夏本番！薔薇も人間も夏バテしないよう気を付けていきたいです。(麻)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会
〒306-0201 茨城県古河市上大野698
TEL 0280-97-1027 (代)
FAX 0280-97-1112



※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。